

## 小論文問題

受験番号	
N	N C 1 1
氏名	

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

インターネット上では、人を「自分たち」か「あいつら」かに分類しようとする強い衝動が、やはりこれも人間に内蔵された災害や危険への恐怖と同じように明らかな効果を発揮する。今は新聞やテレビよりもフェイスブックでニュースを読んでいる人の方が多いが、そこには決定的な違いがある。新聞やテレビのニュース編集局は、どのニュースを報じるかを選択し、それが面白いかどうかだけでなく、真実かどうかでも精査する。一方、フェイスブックのタイムラインに流れてくるニュースは、コンピューターのアルゴリズムが選んだものだ。つまり、拡散される記事に書かれていることが真実かどうか、そこに責任を持つ編集局はフェイスブックには存在しない。私たちが「興味を持つだろう」とアルゴリズムが思ったニュース、つまり友人たちが読み、拡散したニュースが目に入ることになる。内容が正確かどうかはまったく関係ないのだ。

人間の歴史のほぼ全期間、人口の1／2割が他の人間に殺されてきた結果、私たちは紛争や脅威のニュースに格段の関心を持つようになった。それが生死にかかわる情報だからだ。フェイスブックのアルゴリズムはニュースの選定がいい加減で、私たちが読んで拡散するかどうかだけで決まる。ということは、紛争や脅威に関連したニュースがとりわけ速いスピードで拡散される可能性がある。極端に明るいニュースについても同じだ。それが真つ赤な嘘で固められた内容だとしても。

まさしくそうなのだ。SNS上で拡散された10万件以上のニュースを調査したところ、フェイクニュースのほうが多く拡散されていただけでなく、拡散速度も速いことがわかった。一方で正確なニュースは、フェイクニュースと同程度に拡散されるまで6倍の時間がかかっていた。その理由は、フェイクニュースのほうがセンセーショナルだからだろう。真実に忠実である必要はないのだ。読まれるからアルゴリズムに優先され、タイムラインのいちばん上に出てくる。しかも人間にはフェイクニュースを拡散する傾向があるから、アルゴリズムのせいだけではない。アルゴリズムがまずそのニュースを私たちにしっかり届け、その後は私たち自身が友人にそれを転送しているのだ。それに、読む人が多ければ多いほど真実に見えてくる。

人類史上最大のニュース発信源フェイスブックは、拡散される内容の信憑性に編集責任を取っていないという批判を受けている。人間に備わった恐怖や争いへの興味を食い物にして、私たちの注目を引きつけている。すべては広告を売るためだ。こんな指摘をする人もいる。SNS上のフェイクニュースは軍事紛争を煽っているし、民主主義を揺るがしている。いやそれどころか、すでに決定的な影響を与えてしまってもいると。

スマホ脳 アンデシユ・ハンセン 著 久山葉子訳 新潮新書

問題 著者の主張に対するあなたの考えを、身近な例をあげて八〇〇字以内で記述しなさい。